

設備女子会 交流会 2014/05/16



女性の働き方変化

設備女子会 第4回交流会

建築設備技術者協会（JABMEE）の「設備女子会」

（徳弘洋子会長）は、東京都港区のAOSHIMA青山店で第4回交流会を開いた。会員約30人が参加し親睦を深めた。

設備女子会は、女性設備技術者の情報交換・情報発信などを目的に2012年11月の

者が土地や建物の買い取りに合意した時点の市場価格を基に、今後避難指示が解除されて使えるようになる想定し、補償額を個別に計算する。また、土地・建物だけでなく、墓の候補地外への移転にかかる経費も支援。移転に伴う法要などの費用も負担する方向で検討している。政府は既に、建設候補地の地元振興のため、自由度の高い交付金を新設する方針も示しており、住民説明会でも示す予定だ。

防水・防音

高山工業株式会社

本社 東京 03(3265)5631(代)

支店	大阪	06(6386)9312
支店	仙台	022(294)5371
支店	大宮	043(421)5451
支店	横浜	045(477)3660
支店	北九州	048(799)0720

「建築設備士の日」に発足し、現在の会員数は232人。この日は、中野美和子さん（森村設計）の乾杯の音頭で会が始まった。

懇親会では、竹中工務店設備設計に携わる村瀬澄江さんが「わたしの仕事」と題するプレゼンテーションを行った。村瀬さんは女性の働き方について「かつて、女性は結婚・子育てを機会にセカンドライフを考えていたが、今は人生と仕事が連続しているのではないかと分析。女性と仕事の関係が変化している状況を指摘した」と写真。また、同じ竹中工務店の施工分野で働く夫との生活についても言及し「家庭でも施工側から見た設計への意見がけんかの原因になったこともある」と語り、会場の笑いを誘った。

人事

環境省
（5月20日）辞職（官房付・日本環境安全事業中間貯蔵事業準備室長） 粕谷明博

【日刊建設通信新聞】

「私のしごと」をテーマにプレゼン

第4回懇親会開く 設備女子会

建築設備技術者協会（JABMEE）、川瀬貴晴会長が立ち上げた設備女子会（徳弘洋子会長）の第4回懇親会が、東京都港区のAOSHIMA青山店で行われた。写真。今回は35人が参加し、親睦を深めた。

設備女子会は、12年11月に発足。女性技術者の情報交換・情報発信の場として、活動が行われている。

懇親会では、竹中工務店の村瀬澄江さんが「私のしごと」をテーマにしたプレゼンテーションなどを行い、会社人生を振り返るとともに、設備設計の仕事についての考え方や休日の過ごし方などを発表した。



【日刊建設産業新聞】

設女会に35人が参加

JABMEE 都内で交流会開く

建築設備技術者協会（JABMEE）の「設備女子会」（設女会、徳弘洋子会長）は16日、東京都港区のAOSHIMA青山店で4回目の交流会を開いた。写真。設計事務所やゼネコン、設備工事会社、団体などさまざまな職場で活躍する女性約35人が参加。運営委員の村瀬澄江さん（竹中工務店）が「私のしごと」と題し、今まで手掛けた仕事や休日の過ごし方などを紹介し、参加者と情報交換・発信を行い、活躍の場を広げることで社会に一層貢献していくことが目的。賛同する女性であれば、JABMEEの会員・非会員を問わず誰でも入会できる。16日時点で232人が参加している。

建築設備技術者協会 見を交わしながら交流を深めた。

村瀬さんは1989年に入社して以来、学校や病院、住宅などの設備設計に携わってきた。社会生活を振り返り、「仕事は小さな積み重ねが大切。前に担当した物件で学んだことや築いた人脈が後々の仕事に生かされている」と話した。

設女会は昨年11月18日の「建築設備士の日」に発足した。女性技術者が活躍の場を広げることで社会に一層貢献していくことが目的。賛同する女性であれば、JABMEEの会員・非会員を問わず誰でも入会できる。16日時点で232人が参加している。



【日刊建設工業新聞】